

聖チェチリア（カエキリア）（未展示）

この小さな美しい像は、ローマの聖チェチリア教会にある有名な作品のレプリカです。チャールズ・フランシス・サマーズが教会の修道女の特別な許可をもらってオリジナルから取った鋳型を使用して製作されたものです。



デモステネスとソクラテスの胸像（未展示）

ローマのパチカンのオリジナルから取った鋳型を使用してつくられた胸像です。デモステネス（紀元前383年ごろ）はアテナイの雄弁家、ソクラテス（紀元前469～399年）はギリシャの哲学者。



表紙：
イブ、チャールズ・フランシス・サマーズ、1900年頃
ロトルア博物館



ROTORUA
museum
OF ART AND HISTORY
Te Whare Taonga o Te Arawa

ロトルア博物館
〔英語名〕 Rotorua Museum of Art & History
〔マオリ語名〕 Te Whare Taonga o Te Arawa
ロトルア地域自治体
宛先：Private Bag 3029, Rotorua, New Zealand
Tel 07 349 4350 Fax 07 349 2819
Email: rotoruamuseum@rdc.govt.nz
Website: www.rotoruumuseum.co.nz

DESTINATION
ROT@RUA
ROTORUA DISTRICT
COUNCIL



サマーズの彫刻作品



ROTORUA
museum
OF ART AND HISTORY
Te Whare Taonga o Te Arawa

ロトルア博物館の入口ホールおよび北ウイングに展示されている大理石彫刻は、2作品を除き、すべてオーストラリアの彫刻家チャールズ・フランシス・サマーズ(Charles Francis Summers)の作品です。

これらの彫像は1908年に、ロトルアのバス・ハウスの雰囲気作りのために、当時の観光・ヘルスリゾート省によって購入された彫像で、サマーズ作品のコレクションとして世界最大を誇ります。

チャールズ・フランシス・サマーズは、1858年メルボルンのリッチモンドに生まれ、11歳の時に彫刻家であった父に連れ立ってローマに渡ります。

チャールズ・フランシス・サマーズ・シニア(父)によって創設されたアトリエは、当時のローマで最高のアトリエとして名を上げ、全盛期には20名もの職人を雇っていました。チャールズ・フランシス・ジュニア(息子)は、父の傍らでその仕事内容に通じるようになり、同時期にベンソーニ、セイツ、チェリらの教授の影響を受けます。サマーズ親子の作品は、よく混同されがちです。サマーズ・シニア(父)は1878年に他界し、一方サマーズ・ジュニア(息子)は、ローマのマルガッタ通り55A番地にアトリエを構え、1904年にはオーストラリアに戻りました。

彼は1904年までにオーストラリアの各地で、有名な彫刻家の作品の大理石のレプリカの展示会を開き、その販売活動をしていました。

また、彼は、二人のローマ法王の友人として、パチカンの敷地内の像や彫刻の石膏模型を取ることが許された唯一の彫刻家でした。

チャールズ・フランシス・サマーズ・ジュニア(息子)の全作品のオークションが、1905年6月13日火曜日に行なわれる予定でしたが、結局そのオークションは開催されることはなく、最終的には全作品がオークション以前に、1906-1907年クライストチャーチ国際展示会のコミッションナーに直接売却されたのでした。その時に支払われた金額は£2250と諸経費代で、サマーズは、その彫刻作品をクライストチャーチに展示するために、ニュージーランドを訪れています。

1908年には13の彫刻作品(11作品はサマーズ・ジュニア、1作品はサマーズ・シニア、そして他の1作品はC.フォッシンによるもの)が、ロトルアのバス・ハウスのために、当時の観光・ヘルスリゾート省によって購入されました。その時の購入額は£2,000あまりでした。作品はオークランドまでは船で、オークランドからロトルアまでは鉄道で搬送されました。

サマーズの全作品には、ミケランジェロも使用したイタリア・カララ産の大理石が使用され、その作品は19世紀半ばの新古典派に属します。

バス・ハウスへの作品の売却以降、チャールズ・フランシス・サマーズは創作活動を中止したようでした。マリー川(Murray River)の上流で16キロメートルにおよぶ大理石を発見し、その地域固有の大理石の採掘に力を注いだようです。

しかしながら、サマーズの大理石採掘の事業構想は実現することはありませんでした。皮肉にも、大変な尽力を投じて採掘を試みていた場所から、丘のちょうど反対側にあった純白の大理石の脈を発見するに至らなかったのです。

チャールズ・フランシス・サマーズは、1945年に他界。享年87歳でした。

サマーズの彫刻作品

イブ

手にりんごを持つイブの像。
本来は入口ホールの中心にあり、現在でも中心的な作品です。台座の浅浮き彫りのパネルは、アダムとイブや失楽園を表現しています。後に殺された息子アベルの死体を発見するに至る物語です。



長老たちに脅かされるスザンナ

ヨヤキムを夫とし美しく良い妻であるスザンナの逸話を表現した作品。愛欲に駆り立てられた2人の長老が、我々と関係しなければ、若い男と姦通していると通報すると脅迫し、スザンナを姦通を犯した罪で死罪にするよう告発するが、預言者ダニエルが2人の長老達の告発に疑いをもち、最終的にスザンナの無実を証明します。スザンナが二人の長老を軽蔑する表情で、憤り深さを表現したポーズとなっています。



最初のアのささやき

プシュケとキュービッドを描いたG.M.ロンバルディのオリジナル作品のレプリカ。優柔不断プシュケと誘惑的な愛の神キュービッドの対比が特徴です。



フローラ(花の女神)

花飾りを装うフローラ、ローマ時代の花、春、青春の女神のお祭り「フロラリア祭」を意味します。この祭りは4月28日から5月1日まで開催され、その期間にレース、動物狩り、劇的なスピーチなどが催されます。



二人の友人

チャールズ・サマーズ・シニア(父)によってデザインされ、ロイヤルアカデミーに展示された彫刻です。イタリアの教会で飢え死にしそうな少年と犬の記憶をもとに制作された作品。新古典派形式がセンチメンタルなテーマを深く探求した作品です。



バカンテと幼いバックス

オリジナル作品はローマ王宮の大階段に置かれていたものです。G.M.ベンソーニによってデザインされた作品。ディオニソスの熱狂的な従者であるバカンテが幼いバックスにブドウをあげている像。



女預言者デボラ

旧約聖書には、女預言者デボラとの物語とデボラと將軍バラクがいかにカナンの王を倒した後イスラエルの指導者になったかという物語があります。この物語は、この堂々とした彫刻の台座の浅浮き彫りに詳述されています。デボラのこのポーズは、圧倒的な勝利を勝ち誇る様子を表現しています。



愛のチャリオット

鳩に引かれる貝殻に乗った愛の神キュービッドを描いた作品。
有翼の使者は、人の恋心を自由に操る絶大な力を持ちます。



ポーリーヌ・ボナパルト

ナポレオン・ボナパルトに最もかわいがられた妹ポーリーヌが、「勝利のウエヌス」として寄りかかったポーズをとる様子を表現した彫刻。このローマのC.フォッシンによる作品は、アントニオ・カノーヴァによるオリジナルの複製であり、神話「パリスの審判」を題材としています。



キュービッドに飛び方を教えるゼピュロス

この愛嬌のある彫刻で、弓矢や松明を持つ有翼の少年として表現されているキュービッド。ゼピュロスは西風の神であり、森の神の中で一番穏やかな神。

